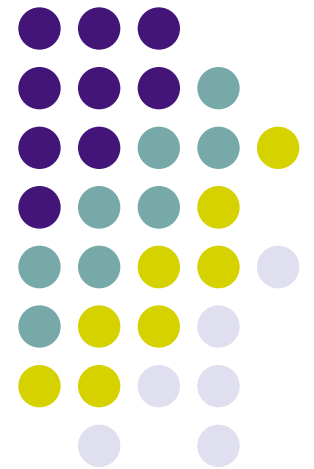
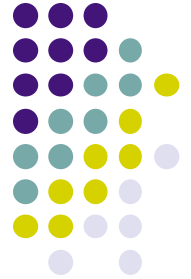


言語・文化・人間発達 2

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南 雅彦



言語と文化



- 言語と文化
- 文化の理解と定義
- 文化と言語

言語と文化

Sapir-Whorf hypothesis
バイリンガル

- 言語
- 文化の理解と定義
- 文化と言語

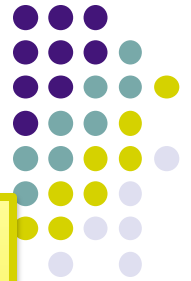
言語と文化

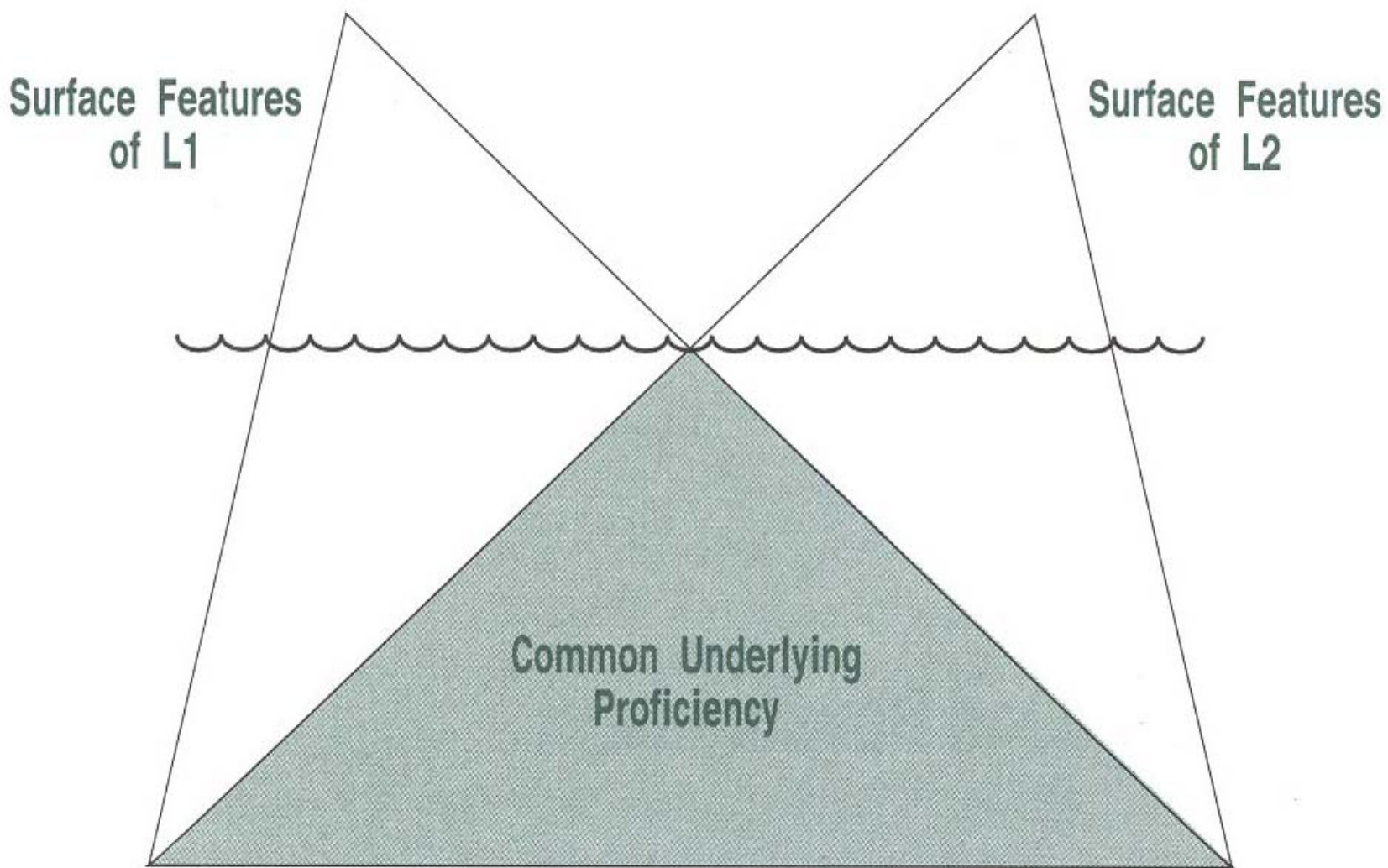
「甘え」という感覚はアメリカ人にも存在するが、「甘え」という感覚そのものを端的に表現する単語は英語には存在しない。

このことを比較文化心理学の見地から考えると、「甘え」という感覚が日本社会においては特に重要な意味を持ち、また重要な役割を果たしているのだ、と考えられる。

Sapir-Whorf hypothesis
バイリンガル

言語
文化の理解と定義
文化と言語





共有(共通)基底言語能力モデル



言語と文化

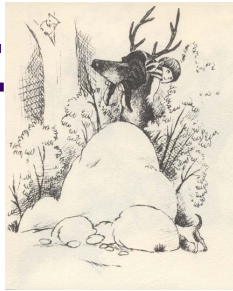
- 言語習得のある側面は学習により、また他の側面は生得的である。
- Kashima and Kashima (1998) は、日本語やその他のアジアの言語のように代名詞を省略することが許容されている言語を持つ文化では、個人主義の程度が低くなる傾向があることを発見した。
- 言語相対性とも呼ばれる**サピア・ウォーフ**仮説(Sapir-Whorf hypothesis)は、「異なる言語を話す者は、その言語の相違ゆえに、異なったように思考する」と示唆している。概して、異なる文化は異なる言語を所有しているので、言語機能としての思考と行動における文化間の相違と類似性を理解する上で、**サピア・ウォーフ**仮説はとりわけ重要である。



言語と文化

- Niyekawa-Howard(1968): 日本語の文法と「物事が起こる原因に対する日本人の認識」を研究
 - 間接受動表現(例: 雨に降られる、赤ん坊に泣かれる)、主語の人物はその行為や生じた結果に責任を負いはしない。この情報は英語でも伝えられはするが、厄介で余分な単語や句を使用しなければならない。
 - 日本語の受動態では、この意味(上記の例では「雨に降られて/赤ん坊に泣かれて困った」という意味)は微妙に伝えられる。日本語話者がこの受動態に直面する頻度のため、日本語話者はたとえ結果が肯定的なものであろうがなかろうが、英語話者以上に責任を他者に転嫁するのだ、と考えた。
- これはステレオタイプの的な解釈ではないのか？

言語 ヒ



Passive Forms

アスカ [女兒: 11歳 1ヵ月] (場面 15-17)

英語:

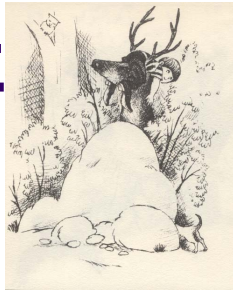
And then they met a deer, and then the deer carry them, and dump them into the creek.

日本語:

で、とちゅうで シカにあって、シカのつのは はさまれて、いけに ほおりにまれて。

‘And, ø (they) met a deer on their way, and ø (they) were grabbed by the deer’s horns, and ø (they) were thrown into a pond.’

言語ヒ



Passive Forms

アスカ [the boy & the dog] 1ヵ月] (場面 15-17)

英語:

And then they met a deer, and then the deer carry them, and dump them into the creek.

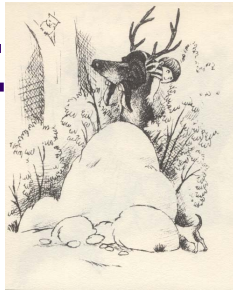
the boy & the dog

the boy & the dog

で、シカにめづり、ツノのつのはさまれて、いけに
ほおりにまれて。

‘And, ø (they) met a deer on their way, and ø (they)
were grabbed by the deer’s horns, and ø (they) were
thrown into a pond.’

言語



ヒ



Passive Forms

アスカ [the boy & the dog] 1ヵ月] (場面 15-17)

英語:

And then they met a deer, and then the deer carry them, and dump them into the creek.

the boy & the dog

the boy & the dog

ほおろこ

the boy & the dog

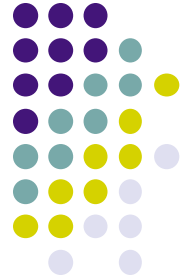
アスカのつのはさ

the boy & the dog

'And, ø (they) met a deer on their way, and ø (they) were grabbed by the deer's horns, and ø (they) were thrown into a pond.'

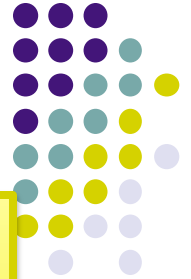
the boy & the dog

言語と文化



- 言語と文化
- 文化の理解と定義
- 文化と言語
- 文化と自己

言語と文化



自立している自己

vs.

相互依存的な自己

- 言語
- 文化の理解と定義
- 文化と言語
- 文化と自己

西洋以外の集団主義的な文化では、人は誰でも本質的に他者と繋がり、お互いに依存しあっており、社会背景から切り離すことのできない存在。

(Markus & Kitayama, 1991)

自立している自己

vs.

相互依存的な自己

- 文化の理解と定義
- 文化と言語

文化的相違を理解する指針

「西洋 対 東洋」という構図？

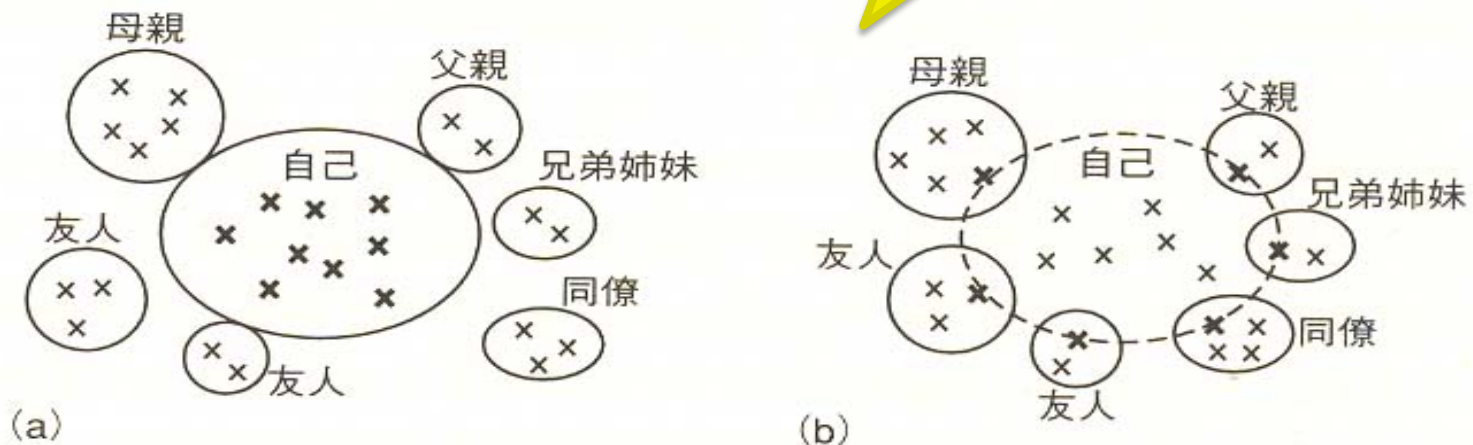
「個人主義社会 対 集団主義社会」という対立構図？

「ロウ・コンテクスト文化 対 ハイ・コンテクスト文化」という構図？

(Edward Hall, 1966, 1976)

西洋以外の集団主義的な文化では、人は誰でも本質的に他者と繋がり、お互いに依存しあっており、社会背景から切り離すことのできない存在。
(Markus & Kitayama, 1991)

自立している自己
vs.
相互依存的な自己



情報源：マーカスとキタヤマ (H. Markus & S. Kitayama, 1991b) 著「文化と自己：認知、感情、動機の結果」。「Psychological Review, 98」 pp.224-253。著作権：1991年アメリカ心理学協会。

(a) 自立的観念からの自己観 (b) 相互依存的観念からの自己観

マツモト『文化と心理学：比較文化心理学入門』より

西洋以外の集団主義的な文化では、人は誰でも本質的に他者と繋がり、お互いに依存しあっており、社会背景から切り離すことのできない存在。
(Markus & Kitayama, 1991)

自立している自己
vs.
相互依存的な自己



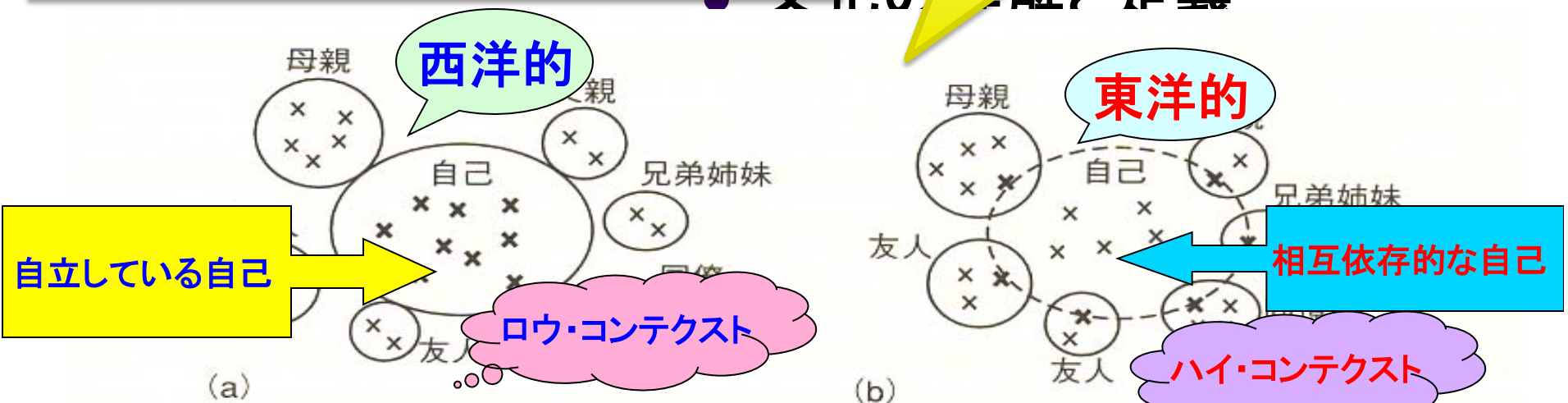
情報源：マーカスとキタヤマ (H. Markus & S. Kitayama, 1991b) 著「文化と自己：認知、感情、動機の結果」。「Psychological Review, 98」 pp.224-253。著作権：1991年アメリカ心理学協会。

(a) 自立的観念からの自己観 (b) 相互依存的観念からの自己観

マツモト『文化と心理学：比較文化心理学入門』より

西洋以外の集団主義的な文化では、人は誰でも本質的に他者と繋がり、お互いに依存しあっており、社会背景から切り離すことのできない存在。
(Markus & Kitayama, 1991)

自立している自己
vs.
相互依存的な自己



情報源：マーカスとキタヤマ (H. Markus & S. Kitayama, 1991) 著「文化と自己：認知、感情、年アメ」53。著作権：1991

(a) 自

性差は？

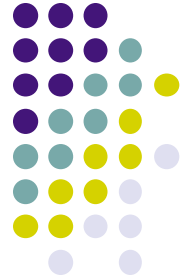
Gilligan (1986)

Women = relational self, Eastern self

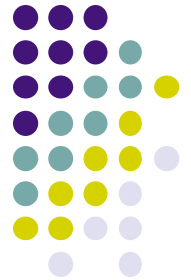
念からの自己観

文化心理学入門』より

言語と文化



- 言語と文化
- 文化の理解と定義
- 文化と言語
- 文化と自己
- 異文化コミュニケーション



言語文化

送り手

エンコーディング

メッセージを言葉にして送り出すプロセス

ディコーディング

送り手が送ってきた言葉を意味のあるメッセージとして捉えるプロセス

受取手

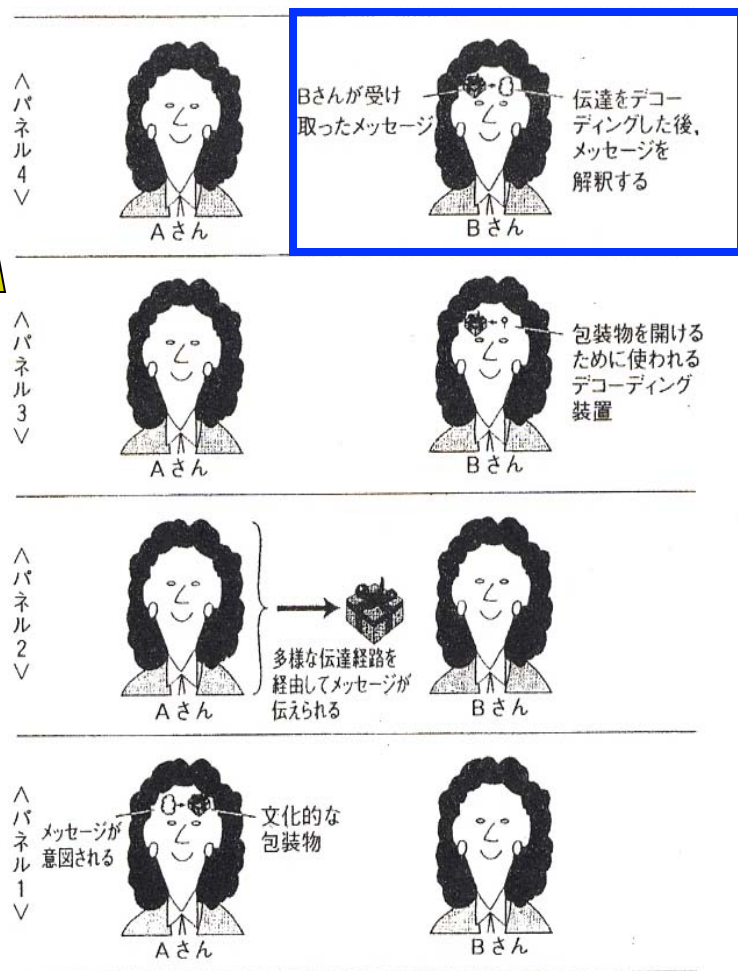
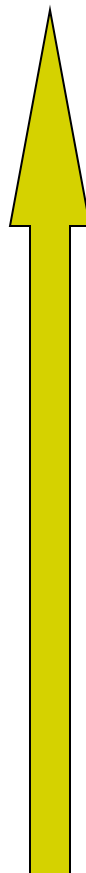
- 言語と文化
- 文化の理解と定義
- 文化と言語
- 文化と自己
- 異文化

エンコーディング
vs.
ディコーディング
encoding vs. decoding

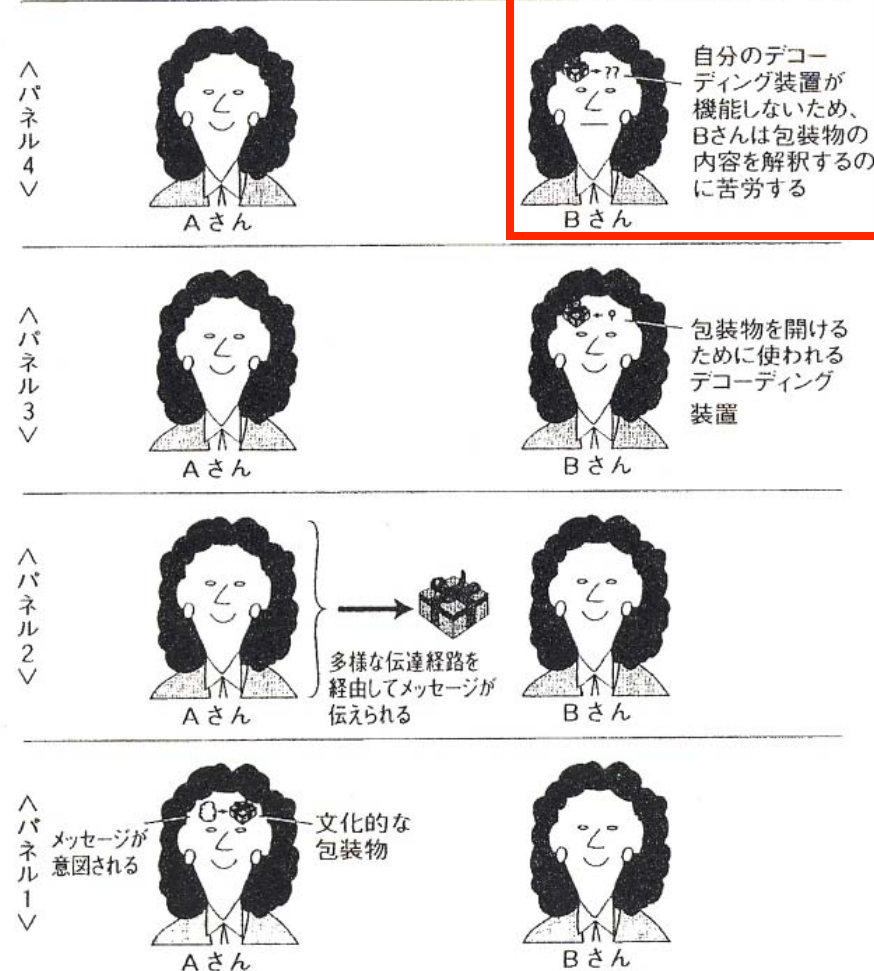




言語レベル



同一文化内コミュニケーションの瞬間的な分析



異文化間コミュニケーションの瞬間的な分析

マツモト『文化と心理学: 比較文化心理学入門』より



言語

同一すなわち、デコーディング規則とそれに関連した感情および価値観が、世界を見る際に我々が使っている「フィルター」の基礎を形成している。

我々がよりいっそう自文化化するにつれて、フィルターはより幾重にも層を増してゆく。これらのフィルターはレンズのようなものでこのフィルターによって、我々はある一定の方法で世界を見るようになる。

成人する頃には、同じ文化グループ内の人と同じフィルターを共有するようになる。フィルターは自分の一部となり、目に見えないものであるにも関わらず、離すことができないものとなる。自文化化によって、フィルターは我々の心理を構成する要因の一部となってしまう。

つまり、人は文化というメガネを通して、世界を見ている。



ハパネル4V

ハパネル3V

ハパネル2V

ハパネル1V

メッセージが
意図される

同一文化内コミュニケーションの瞬間的な分析

異文化間コミュニケーションの瞬間的な分析